

聖光学院校友会報

聖光学院
校友会発行

横浜市中区
滝之上100番地
聖光学院内
045(621)2051
発行人 受川 修
印刷所
神奈川新聞社

トマス学院長 帰天



聖光学院の礎を築いたトマス・トランブレ学院長が、3月23日、急性心筋梗塞のため満89歳で帰天された。葬儀ミサはキリスト教教育修士会関係者のみで執り行われ、4月30日に学校葬、翌5月1日に卒業生などに対し「お別れの会」が行われた。

トマス先生へ心から 哀悼の誠を捧げます

校長 工藤 誠一

3月23日、早朝、トマス先生が胸の痛みを訴えられて救急隊が駆けつけているのが心肺停止の状態であるとの連絡を受けました。搬送先であるみなと赤十字病院に駆けつけましたが、トマス先生は午前6時34分、天国へと旅立たれました。翌月4月14日には満90歳になられる直前の出来事であり、前日まで元気だったことを思い浮かべます。まだに信じられないことで、トマス先生は1931年カナダ ケベック州でお生まれになりました。1953年にモントリオール大学を卒業された後には将来を嘱望され、イギリスのオックスフォード大学に修道会からの指示で留学され、1955年に同大学を卒業後、すぐに日本にいられたのです。ですから母国を旅立ってから間もなく68年の歳月が流れようとしていたのです。1984年には聖光学院校長に就任され、その後2004年まで校長職にありました。その後は学院長として毎日登校されお仕事をなさっていました。私は1978年に教員として聖光学院に戻りました。その年から長く金峰山の登山キャンプにおいて常駐のスタッフになりました。毎年、7月の終業式から8月10日くらいまでキャンプ場でトマス先生、マルセル先生、村山先生と寝食を共にして生徒指導をする日々が10年以上続いたので、先生の後を引き継いで校長になった後もいろいろと相談に乗っていただきました。毎週、火曜日にロータリークラブの例会があり、その往復の車の中で学校の現状をお話し、様々な角



度からご助言をいただくのが私にとっても貴重な時間でありました。また、トマス先生は私の受洗の時の代父です。私にとっては恩師であるだけでなくまさに父親としての存在でした。3月23日を境として直接にそつた機会がなくなってしまうと思つと心細く寂しい限りです。今日、聖光学院がご山手で子弟への教育が継続できているのは修道会内部で移転問題が持ち上がった時にも、一貫して反対の立場を貫いてくださったからで

校友会総会

今年度の校友会総会は、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、昨年度に引き続き、集会形式での開催は中止し書面決議となり、賛成多数ですべての議案は可決された。また、例年、聖光祭と同日に開催している卒業生の



決議に決議資料ならびに結果はQRコードを参照

新会長 受川 修氏(17期)
副会長 石川 貴之氏(17期)・浜野 弘規氏(18期)
総会書面決議により、2021年度の新会長に受川修氏(17期)、副会長に石川貴之氏(17期)、浜野弘規氏(18期)が選任された。そのほかの役員は下記別表のとおり。

会長就任挨拶

受川 修

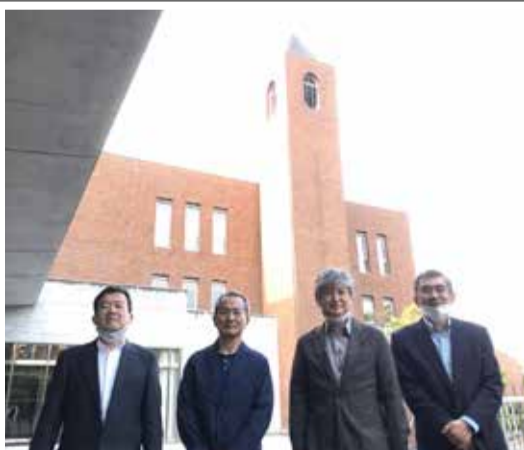
このたび16期の小田治男前会長を引き継ぎ、本年度聖光学院校友会会長を仰せつかりました。17期の受川修と申します。副会長には同期の石川貴之氏、18期の浜野弘規氏にお願いをいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の収束を見せぬ中、会員諸氏におかれましては、緊張と不安の毎日

あります。先生の反対がなければ聖光学院は他の場所に間違いなく移転してしました。こうした、現実的な問題への対応ももちろんあります。しかし何よりも本校の校訓となつている「紳士たれの言葉を、絶えず生徒への訓示や文書に織り込まれました。その結果として聖光生であれば誰もが人間としてあるべき姿を、紳士たれ」という言葉で具現的に思い描くことが可能になつたものと思ひます。先生がご導きになられた薫陶は、世に

派遣された多くの卒業生たちを通して広く伝えられていくことは間違いのないことです。聖光学院は大きく発展し、日本におけるリーダーを数多く輩出する学校に発展しています。まさに今日の本学の隆盛は、トマス先生のお力なくしてはありえないことでありました。すべての卒業生は「紳士たれの校訓を社会の中で実践し続けています。そして本校での教育の営みの中で紳士たれの校訓は次世代へと絶えることなく受け継がれていくことは間違いありません。私は聖光学院の一卒業生として、さらにはトマス先生のご遺志を次へと繋いでいく立場にあるものとして、日々を精進を重ねていくことを改めてお誓いしなければならぬと思ひます。

トマス先生の66年間に亘る日本での宣教師、教師としての先生の教えは多くの日本人の心に響き、青少年の育成に素晴らしい偉業を達成されました。天国に旅立たれたトマス先生、いつまでもこの聖光学院と私たちを見守ってください。本当にありがとうございました。トマス・アンドレ・トランブレ先生のご霊魂の安息を心からお祈りいたします。

2021年4月30日



左から浜野弘規副会長(18期)、受川修会長(17期)、小田治男前会長(16期)、土橋功次前副会長(16期)

帰天されたことです。聖光学院並びに校友会の発展に大変尽力されておりました。心から冥福をお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症防止対応としては、評議委員

2021年度 校友会役員

役職	氏名	期
会長	受川 修	17
名誉会長	工藤 誠一	11
副会長	石川 貴之	17
副会長	浜野 弘規	18
理事	吉田 和之	18
理事	菊嶋 秀生	20
理事	五十嵐 秀典	23
理事	山口 祥治	24
理事	山本 宗男	24
理事	櫛田 恭平	27
理事	田中 崇司	28
理事	加賀美 博之	31
理事	小島 勇祐	37
監事	原 大蔵	18
監事	大村 貴志	23
事務局長	沖田 耕一	25

